



Ⅳ－３ 【施策展開の方向性】 安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く 子どもを育むまちへ

めざす姿

- ・保育所、幼稚園などが充実し、安心して子育てができる
- ・子どもたちの可能性を育むまちとなっている

成果目標

これからも城東区で子どもを育てていきたいと
思っている子育て層の割合 93%

戦略

- (1) 子育て世帯が安心して、生み育て、働くことができるまちづくり
(めざす状態)
 - ・区民の皆さんがこれからも城東区で子どもを育てていきたいと思っている状態
 - ・保育所、幼稚園などが充実し、待機児童がない状態
- (2) 子どもたちの可能性を育むまちづくり
(めざす状態)
 - ・すべての子どもが確かな学力・体力を育むことができる状態
 - ・子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)が実現できている状態



Ⅳ－３ 【施策展開の方向性】 安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く 子どもを育むまちへ

具体的な取組み（例）

● 0歳児家庭見守り支援事業

3か月児健診から1歳6か月児健診までの第1子を育てている方を対象に保育士が定期訪問し、身体計測や育児相談、子育て支援施設などの情報提供を実施。

● プレパパ・プレママ育児体験イベントの開催

● わくわく子育てフェスティバル・絵本イベントの開催



Ⅳ－３ 【施策展開の方向性】 安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く 子どもを育むまちへ

具体的な取組み（例）

●学校内における不登校生徒等の居場所 「スクールサポートルーム」（SSR）の整備

不登校支援の取組みとして、登校はできるけど教室に入ることができない、または集団での生活が難しい状況の児童や生徒などが、学校内で過ごすための居場所として区内市立小中学校に整備します。



●いじめ・不登校サミットの開催

いじめや不登校に関する課題や取組みについて、学校や地域、保護者と共有することにより、今後の取組みの検討に活かしていくことを目的に開催。

専門家による講演、保護者や地域関係者等を交えたシンポジウム、中学校代表生徒による、いじめの事例をもとにした意見交換など実施します。



IV-3 【施策展開の方向性】

安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く
子どもを育むまちへ

具体的な取組み（例）

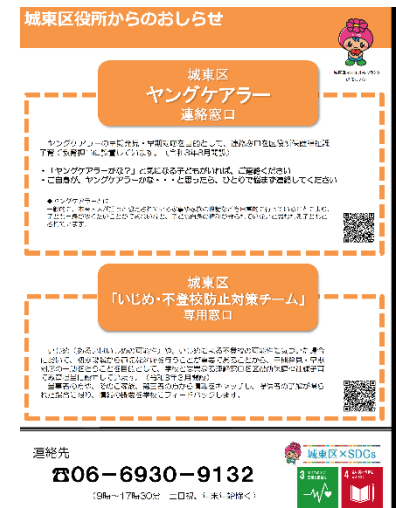
●「教職員等人材バンク」の運用

学校園での勤務を希望される方を区広報誌やHPで募集し、区で事前登録いただいた方と学校とのマッチングにより採用する仕組みで、人材活用の活性化を図っています。

●「ヤングケアラー連絡窓口」●

「いじめ・不登校対策チーム連絡窓口」の設置

ヤングケアラー、いじめやいじめによる不登校の早期発見・早期対応を目的として、専用の連絡窓口を区役所内に設置しています。





IV-4 【施策展開の方向性】 地域が支えあい、住み慣れた場所で安心して暮らせる まちへ

めざす姿

- ・障がいのある方、高齢者や子どもを地域のみんなが互いに見守り、支えあう
- ・地域で暮らす高齢者に医療・介護等の必要な支援を切れ目なく提供する

成果目標

地域でさまざまな福祉の担い手の協働により、支え合う活動ができていると感じている人の割合 65%

戦略

(1) 高齢者、障がい者、子どもを地域が互いに見守り、支えあうまちづくり

(めざす状態)

- ・地域住民、NPO、企業などさまざまな福祉の担い手の協働により、地域で支え合う活動ができている状態
- ・高齢者、障がい者など、支援を要する方を地域で把握できている状態

(2) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるまちづくり

(めざす状態)

- ・地域で暮らす高齢者に医療・介護等の必要な支援が切れ目なく提供されるよう、区内の医療・介護関係機関が円滑に連携できる状態
- ・区民が地域包括ケアについて認識し、支援を行う医療関係者や介護関係者とともにACP(人生会議)を行うことができる状態

(3) 必要な時に必要な支援が受けられるまちづくり

(めざす状態)

- ・被保護者の状況を的確に把握し、必要な時に必要な支援を行い自立を促せている状態





Ⅳ－４ 【施策展開の方向性】

地域が支えあい、住みなれた場所で安心して暮らせる
まちへ

具体的な取組み（例）

区における福祉・健康にかかる計画に基づく施策の推進 (PDCAサイクル)

○区地域福祉プランの推進

地域共生社会の実現をめざし、区地域福祉プランを策定し、具体の取組み目標を設定し、取組みを進めています。

○区食育推進プランの推進

区民一人ひとりが、ライフスタイルにあわせて「食」を選択する力を身につけ、自らの食生活を変えていくための普及啓発活動などを推進するため、区食育推進プランを策定し、具体の取組み目標を設定し、取組みを進めています。

○区健康増進プランの策定・推進

区民、地域、行政、関係団体が一体となって、区民の健康増進を推進していくため、令和4年度、区健康増進プランを策定し、取組みを進めていきます。





Ⅳ－４ 【施策展開の方向性】 地域が支えあい、住みなれた場所で安心して暮らせる まちへ

具体的な取組み（例）

○障がい者スポーツの振興（ボッチャ大会の開催）

区地域自立支援協議会等と連携し、障がいの有無にかかわらず、だれもがスポーツに親しめる地域共生の社会づくりを進めます。



○スマートエイジングの推進

高齢化が進む森之宮地域において、森之宮病院、UR都市機構に加え、大阪公立大学と新たに連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを進めます。



○福祉と防災の連携の取組み

支援が必要な方々が災害時においても必要な支援ができるよう、福祉関係者、地域防災関係者、行政が連携して取組みを進めていきます。

具体的な取組み（例）

医療・介護・福祉関係の多職種の方々と区において設置している「ネットワーク会議」を通じて、区民皆様の暮らしを支える取組みを進めます。

特集

ACP
人生会議

もしものときのために 人生会議

11月30日は
人生会議の日

東京都立小塚こころの聲
「心をつなぐ場所」

つなげよう こころの聲

記 載 日：2022 年 月 日 本人氏名：_____

届けさせた日：2022 年 月 日 関係者名：_____

人生会議の進め方

STEP1

あなたが大切にしていることは何ですか？

治療・ケアする際に、大切にしていることを考えよう

STEP2

あなたが信頼できる人は誰ですか？

もしものときに、あなたの気持ち・希望を伝えてくれる人を選びよう。

STEP3

信頼できる人や医療（かかりつけ医）・ケアチームと話し合いましょう。

例えば～現在の健康状態を理解し、どんな治療やケアを希望するかの相談しよう。

STEP4

話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましょう。

考えや話し合ったことは書き留めよう。

心身の状態に応じて意思は変化します。何度でも 繰り返し話し合いましょう

Q 人生会議は誰がするものなの？
まだ定かでない、必要なのかな？

Q 人生会議は、いつからしたらいいの？
まだお元気だし、何となくからでも遅くないかな？

Q 人生会議の話し合いは、誰としたいの？
家族がいない人はいないしー

Q 人生会議には、どんなメリットがあるの？

➡

A 若者男女関係なくはじめよう！
誰にでも、いつでも、命に関わる医療や手術、大きな医療、ケアをする可能性があります。

A 今からをはじめよう！
もしものときに迷わず、自分の意思や、願いを伝えることができます。

A 周囲に信頼する人はいませんか？
家族や友人、医療関係者・介護施設関係者、地域のボランティアなど様々な人がいます。信頼できる人であれば、どんなときも頼めます。

A あなたの希望が反映された医療やケアを受けやすくなります
もしものとき、あなたの希望やケアが受けられるか確認することもできます。ご自身だけでなく、家族もサポートしてくれる人を選定し行動に移すことができます。

意思決定支援（いっぴい希望を映かそう）プロジェクトチームからのポイント&アドバイス

高田 淳さん
院長

いけいずけ 内科外科クリニック
院長 池沢 真実さん

済生会東京医療福祉専門学校
管理栄養士 渡辺 順子さん

東京都立小塚こころの聲 センター
管理栄養士 佐藤 友知恵さん

**活用してみよう！
人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）シート**

目標・希望・思いについて、気持ちを書き留めるために記入するシートです。
人生会議をするときに活用します。

詳しくはこちらからダウンロードください！

問合せ：保健推進課（保健） ☎ 6310-8182 ☎ 6310-8194

V 将来ビジョンの推進に向けて

- ・将来ビジョンの推進に向けて、さまざまな課題に対応するためには、地域の皆さんや関係団体、企業、行政機関等が手を取り合って連携しながら取り組む必要があります。

- ・その中で区役所は、区民の皆さんや地域に最も身近な行政機関として、皆さんの意見やニーズを丁寧かつ細やかに把握し、前例にとらわれず、地域実情に応じた区政運営を推進していく必要があります。

- ・城東区役所では、区内企業や各種団体との連携を積極的に推進、かつ、区で掲げている「経営理念」にありますとおり、「変革と創造」、「徹底した対話」、「最上のサービス」に職員が全力をあげて取り組むことで、区民の皆さんに貢献してまいります。

- ・将来ビジョンにおいて定められた区のめざすべき将来像及びその実現に向けた施策展開の方向性にしたが、区政会議で委員の意見をいただきながら、毎年度、単年度のアクションプランである運営方針を策定、そこで課題解決のための事業戦略（施策）及び具体的取組み（事務事業）を示すとともに、定期的に事業の有効性をチェックし、改善や見直しにつなげていくなど、PDCAを意識した区政運営を実行してまいります。

- ・なお、大阪市において策定されている「市政改革プラン3.1」に基づく取組みや、大阪市全体での施策の方向性の見直しや環境変化等の状況については、必要に応じてその都度、毎年度の運営方針に反映し、取組みを進めてまいります。

(参考)「大阪・関西万博」開催に向けて



2025年には、大阪市の夢洲において、日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）が開催されます。

大阪・関西万博の開催に向けては、「TEAM EXPO 2025」プログラムとして、テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、企業、大学等教育・学術・研究機関、国・政府関係機関、国際機関、自治体、NGO、NPO法人、各種団体、個人といった多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げていくことをめざし取り組んでいます。

城東区役所は「TEAM EXPO 2025」の一員として、共創チャレンジ^(※)に積極的に登録するなど、SDGsの達成に向け、主体的に貢献してまいります。



城東区における
「共創チャレンジ」一覧
はこちらのホームページ▶
で公開しています



※共創チャレンジ…大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしているチームの活動のこと。